

2005年 大会記録

国際

◇ヤリギン国際大会=女子（1月28～29日、ロシア・クラスノヤルスク）

▼48kg級 坂本真喜子（中京女大）=優勝、▼51kg級 坂本日登美（和光大）=優勝、▼55kg級 服部担子（中京女大）=3位、▼59kg級 中西はつみ（中京女大大学院）=一失、▼59kg級 渡辺小百合（自衛隊）=5位、▼67kg級 菅原美々（警視庁）=二失、▼67kg級 斉藤紀江（ジャパンビバレッジ）=一失

◇デーブ・シュルツ国際大会（2月5～6日、米国・コロラドスプリングス）

《男子フリースタイル》▼55kg級 湯元進一（拓大）=9位、稲葉泰弘（専大）=8位、▼60kg級 斉藤将士（日大）=7位、若山真毅（日体大）=5位、高塚紀行（日大）=一失、湯元健一（日体大）=二失、▼66kg級 佐藤吏（早大）=二失、鈴木崇之（立命館大）=一失、▼74kg級 加藤陽輔（日体大）=5位、▼84kg級 磯川孝生（拓大）=5位、▼96kg級 坂本憲蔵（日本文理大）=9位、▼120kg級 田中章仁（専大）=2位

《男子グレコローマン》▼55kg級 和田宗法（日体大）=3位、▼60kg級 福間道元（日体大）=3位、松本隆太郎（日体大）=3位、▼66kg級 江藤紀友（拓大）=一失、▼74kg級 鶴巻宰（国士大）=9位、加納篤（岐阜・恵峰学園教）=二失、▼84kg級 斎川哲克（日体大）=7位、▼96kg級 山口竜志（拓大）=10位

◇ヤシャドク国際大会=男子フリースタイル（2月18～20日、トルコ・イスタンブール）

▼55kg級 松永共広（ALSOK総合警備保障）=優勝、稲葉泰弘（専大）=14位、▼60kg級 小島豪臣（日体大）=16位、湯元健一（日体大）=23位、▼66kg級 池松和彦（日体大助手）=12位、金淵清文（国士大助手）=17位、▼74kg級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）=10位、高橋龍太（自衛隊）=12位、▼84kg級 磯川孝生（拓大）=7位、松本真也（日大）=13位、▼96kg級 小平清貴（警視庁）=17位、▼120kg級 田中章仁（専大）=3位

◇ダン・コロフ国際大会=男子フリースタイル（3月5～6日、ブルガリア・ソフィア）

▼55kg級 松永共広（ALSOK総合警備保障）=優勝、稲葉泰弘（専大）=5位、▼60kg級 小島豪臣（日体大）=一失、湯元健一（日体大）=二失、▼66kg級 金淵清文（国士大）=10位

大助手) = 一失、▼74kg 級 小幡邦彦 (ALSOK 総合警備保障) = 3 位、高橋龍太 (自衛隊) = 一失、▼84kg 級 磯川孝生 (拓大) = 二失、松本真也 (日大) = 一失、▼96kg 級 小平清貴 (警視庁) = 一失、▼120kg 級 田中章仁 (専大) = 5 位

◇クリッパン女子国際大会 (3月5～6日、スウェーデン・クリッパン)

《シニア・ジュニア》▼48kg 級 河村友海 (愛知・中京女大付高) = 一失、▼51kg 級 鈴木七恵 (栃木・足利工大付高) = 5 位、渡部悠香 (福島・田島高) = 8 位、▼55kg 級 柴田瑞穂 (愛知・中京女大付高) = 2 位、馬越真弓 (京都・立命館宇治高) = 3 位、▼59kg 級 西牧未央 (愛知・中京女大付高) = 優勝、山名慧 (愛知・中京女大付高) = 二失、中田絵理子 (京都・立命館宇治高) = 一失

《カデット》▼40kg 級 藤川千晶 (和光ク) = 4 位、▼43kg 級 堀内優 (京都・網野中) = 優勝、坂本友里恵 (岩手・宮古商高) = 三失、▼46kg 級 坂井のりこ (愛知・中京女大付高) = 3 位、▼49kg 級 鈴木綾乃 (松戸ジュニア) = 2 位、▼52kg 級 大山礼佳 (体力づくり教室杉田道場) = 四失、▼56kg 級 津田香耶 (水戸市スポーツ少年団) = 4 位、山内佳子 (青森・青森商高) = 二失、▼60kg 級 梶田瑞華 (愛知・中京女大付高) = 優勝、佐藤文香 (茨城・水戸市スポーツ少年団) = 三失、▼65kg 級 井上佳子 (愛知・中京女大付高) = 優勝、宇野杏奈 (三重・四日市ジュニア) = 二失、渡部沙織 (福島・田島チビッ子) = 二失

◇ポーランド・オープン=男子グレコローマン (3月12～13日、ポーランド・ワルブレイツ)

▼55kg 級 平井進悟 (ALSOK 総合警備保障) = 3 位、村上文清 (自衛隊) = 8 位、▼60kg 級 笹本睦 (ALSOK 総合警備保障) = 12 位、北岡秀王 (日体大) = 15 位、▼66kg 級 飯室雅規 (自衛隊) = 9 位、伊是名正旭 (沖縄県協会) = 12 位、▼74kg 級 鶴巻幸 (国士大) = 7 位、菅太一 (警視庁) = 3 位、▼84kg 級 松本慎吾 (一宮運輸) = 3 位、▼96kg 級 森角裕介 (長野県協会) = 11 位、▼120kg 級 新庄寛和 (国士大) = 13 位

◇ワールドカップ=女子 (5月20～21日、フランス・クレルモンフェラン)

優勝

予選1回戦 日本○ [6 - 1] ●米国

予選2回戦 B Y E

予選3回戦 日本○ [7 - 0] ●ロシア

決 勝 日本○ [6 - 1] ●ウクライナ

《個人順位》▼48kg 級 坂本真喜子 (中京女大) = 優勝、▼51kg 級 伊調千春 (中京

女大) = 優勝、▼55kg 級 吉田沙保里 (ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼59kg 級 正田絢子 (東洋大) = 優勝、▼63kg 級 伊調馨 (中京女大) = 優勝、▼67kg 級 坂本襟 (中京女大クラブ) = 5 位、▼72kg 級 浜口京子 (ジャパンビバレッジ) = 優勝、

◇アジア選手権 (5月24~30日、中国・武漢)

《男子フリースタイル》▼55kg 級 松永共広 (ALSOK 総合警備保障) = 3 位、▼60kg 級 小島豪臣 (日体大) = 3 位、▼66kg 級 池松和彦 (K-POWERS) = 3 位、▼74kg 級 小幡邦彦 (ALSOK 総合警備保障) = 7 位、▼84kg 級 磯川孝生 (拓大) = 2 位、▼96kg 級 小平清貴 (警視庁) = 5 位、▼120kg 級 田中章仁 (FEG) = 5 位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 平井進悟 (ALSOK 総合警備保障) = 3 位、▼60kg 級 笹本睦 (ALSOK 総合警備保障) = 3 位、▼66kg 級 飯室雅規 (自衛隊) = 2 位、▼74kg 級 鶴巻宰 (国士大) = 3 位、▼84kg 級 松本慎吾 (一宮運輸) = 2 位、▼96kg 級 森角裕介 (長野・蓼科高教) = 8 位、▼120kg 級 新庄寛和 (国士大ク) = 5 位

《女子》▼48kg 級 坂本真喜子 (和光ク) = 2 位、▼51kg 級 坂本日登美 (自衛隊) = 優勝、▼55kg 級 吉田沙保里 (ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼59kg 級 中西はつみ (中京女大大学院) = 7 位、▼63kg 級 伊調馨 (中京女大) = 優勝、▼67kg 級 坂本襟 (中京女大ク) = 2 位、▼72kg 級 村島文子 (中京女大ク) = 2 位

◇アジア・ジュニア選手権 (6月8~12日、韓国・済州島)

《男子フリースタイル》▼50kg 級 守田泰弘 (福岡・三井高) = 5 位、▼60kg 級 大沢茂樹 (山梨学院大) = 優勝、▼55kg 級 前田翔吾 (愛知・星城高) = 3 位、▼66kg 級 岩井康輔 (山梨学院大) = 7 位、▼74kg 級 大月葵斐 (早大) = 5 位、▼84kg 級 藤本大輔 (日体大) = 5 位、▼96kg 級 安西信昌 (明大) = 5 位、▼120kg 級 山口恭平 (徳山大) = 6 位

《男子グレコローマン》▼50kg 級 三浦正幸 (東洋大) = 6 位、▼55kg 級 峯村亮 (神奈川大) = 3 位、▼60kg 級 松本隆太郎 (日体大) = 6 位、▼66kg 級 井上智裕 (兵庫・育英高) = 5 位、▼74kg 級 畑中泰史 (山梨学院大) = 5 位、▼84kg 級 矢野将章 (専大) = 5 位、▼96kg 級 長友大祐 (日体大) = 2 位、▼120kg 級 竹内勝信 (国士大) = 3 位

《女子》▼44kg 級 進藤恵 (堺女短大) = 優勝、▼48kg 級 片渕有紀 (同志社大) = 優勝、▼51kg 級 鈴木七恵 (早大) = 優勝、▼55kg 級 柴田瑞穂 (中京女大) = 優勝、▼59kg 級 山名慧 (中京女大) = 優勝、▼63kg 級 西牧未央 (愛知・至学館高) = 優勝、

▼67kg級 新海真美（中京女大）＝優勝、▼72kg級 田中希枝（中京女大）＝2位

◇世界ジュニア選手権（7月5～10日、リトアニア・ビリニュス）

《男子フリースタイル》、▼50kg級 長江翔太（国士大）＝9位、▼55kg級 稲葉泰弘（専大）＝2位、▼60kg級 高塚紀行（日大）＝3位、▼66kg級 藤本浩平（拓大）＝3位、▼74kg級 秋本直樹（日大）＝11位、▼84kg級 門間順輝（日体大）＝11位、▼96kg級 下中隆広（国士大）＝23位、▼120kg級 荒木田進謙（青森・光星学院高）＝10位

《男子グレコローマン》、▼50kg級 長塚和仁（東洋大）＝棄権、▼55kg級 倉本一真（拓大）＝17位、▼60kg級 城戸義貴（徳山大）＝12位、▼66kg級 生松麗（日本文理大）＝22位、▼74kg級 根津隆夫（早大）＝16位、▼84kg級 矢野将章（専大）＝29位、▼96kg級 山口竜志（拓大）＝24位、▼120kg級 中村淳志（拓大）＝11位

《女子》、▼44kg級 進藤恵（堺女短大）＝3位、▼48kg級 片渕有紀（同志社大）＝9位、▼51kg級 鈴木七恵（早大）＝2位、▼55kg級 柴田瑞穂（中京女大）＝5位、▼59kg級 山名慧（中京女大）＝優勝、▼63kg級 西牧未央（愛知・至学館高）＝優勝、▼67kg級 新海真美（中京女大）＝優勝、▼72kg級 田中希枝（中京女大）＝7位

◇カナダカップ（7月8～10日、カナダ・グエルフ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 佐賀井大樹（南九州大）＝6位、▼55kg級 長尾武沙士（近大）＝二失、▼60kg級 藤永大吾（立命館大）＝6位、▼60kg級 武田幸登（日本文理大）＝二失、▼60kg級 宮原利仁（福岡大）＝三失、▼66kg級 小来田広志（天理大）＝三失、▼84kg級 村上彰一（中京学院大）＝三失、▼84kg級 大野祐亮（関大）＝二失、▼84kg級 鳥生将大（桃山学院大）＝二失、▼120kg級 中井康介（帝塚山大）＝二失

《女子》▼51kg級 前原愛（関西大）＝三失、▼59kg級 大島貴子（福岡大）＝優勝、▼59kg級 西子ひとみ（中京大）＝二失

◇アジア・カデット選手権（7月28～30日、茨城・大洗町総合運動公園体育館）

《男子フリースタイル》▼42kg級 半田守（京都・網野町少年教室）＝3位、▼46kg級 丸山秀斗（山口・鴻城高）＝5位、▼50kg級 松本卓哉（京都・網野高）＝5位、▼54kg級 川腰智也（富山・高岡商高）＝9位、▼58kg級 山口代悟（兵庫・育英高）＝8位、▼63kg級 高谷惣亮（京都・網野高）＝5位、▼69kg級 松本篤史（群馬・館林高）＝優勝、▼76kg級 永田裕城（京都・網野高）＝2位、▼85kg級 山名隆貴（奈

良・添上高) = 7位、▼100kg級 馬場祐太郎(長崎・島原高) = 5位

《男子グレコローマン》▼42kg級 雨宮和貴(山梨・北杜高) = 6位、▼46kg級 矢後匡平(千葉・柏二中) = 3位、▼50kg級 梶雅晴(兵庫・育英高) = 2位、▼54kg級 中井伸一(東京・京北高) = 3位、▼58kg級 竹下英嗣(山口・鴻城高) = 8位、▼63kg級 横山大士(滋賀・栗東高) = 8位、▼69kg級 中野裕仁(愛媛・今治工高) = 5位、▼76kg級 菊地心(北海道・根室高) = 5位、▼85kg級 鈴木啓仁(京都・南京都高) = 6位、▼100kg級 近田真基(兵庫・育英高) = 2位

《女子》▼38kg級 藤川千晶(埼玉・和光ク) = 優勝、▼40kg級 坂本友里恵(岩手・宮古商高) = 2位、▼43kg級 堀内優(京都・網野町少年教室) = 優勝、▼46kg級 三村冬子(京都・網野高) = 優勝、▼49kg級 鈴木幸子(栃木・壬生高) = 優勝、▼52kg級 山内佳子(青森・青森商高) = 2位、▼56kg級 梶田瑞華(愛知・至学館高) = 2位、▼60kg級 井上佳子(愛知・至学館高) = 優勝、▼65kg級 渡部沙織(福島・荒海中) = 4位、▼70kg級 榎本美希(三重・四日市四郷高) = 優勝

◇ジオルコウスキ国際大会=男子フリースタイル(8月13~14日、ポーランド・シェ

ドルツェ)

▼55kg級 松永共広(ALSOK総合警備保障) = 優勝、▼74kg級 小幡邦彦(ALSOK総合警備保障)、▼84kg級 山本悟(岡山県協会) = 13位

◇ユニバーシアード(8月13~17日、トルコ・イズミール)

《男子フリースタイル》▼55kg級 清水聖志人(クリナップ=日体大OB) = 5位、▼60kg級 高塚紀行(日大) = 一失、▼66kg級 池松和彦(K-POWERS=日体大OB) = 一失、▼74kg級 高橋龍太(自衛隊=拓大OB) = 10位、▼84kg級 磯川孝生(拓大) = 8位、▼96kg級 米山祥嗣(日体大) = 一失、▼120kg級 田中章仁(FEG) = 一失

《男子グレコローマン》▼55kg級 和田宗法(日体大ク=日体大OB) = 一失、▼60kg級 福間道元(早島養護学教=日体大OB) = 二失、▼66kg級 藤村義(自衛隊=徳山大OB) = 一失、▼74kg級 鶴巻宰(国士大) = 3位、▼84kg級 松永修司(日体大) = 一失、▼96kg級 石沢幸佑(日体大) = 二失、▼120kg級 沢田直樹(維新百年記念公園管理事務所=拓大OB) = 一失

《女子》▼48kg級 船津友里(東洋大) = 2位、▼51kg級 甲斐友梨(中京女大) = 9位、▼55kg級 吉田沙保里(ALSOK総合警備保障) = 優勝、▼59kg級 正田絢子(ジャパンビバレッジ) = 優勝、▼63kg級 伊調馨(中京女大) = 優勝、▼67kg級 新海真美

(中京女大) = 優勝、▼72kg 級 村島文子 (中京女大ク) = 3 位

◇ピトラシンスキ国際大会 = 男子グレコローマン (8月20~21日、ポーランド・ラチ

ブージュ)

▼55kg 級 豊田雅俊 (警視庁) = 一失、▼60kg 級 笹本睦 (ALSOK 総合警備保障) = 2 位、▼66kg 級 飯室雅規 (自衛隊) = 二失、▼74kg 級 岩崎裕樹 (銀水荘) = 二失、▼84kg 級 松本慎吾 (一宮運輸) = 二失、▼96kg 級 加藤賢三 (自衛隊) = 一失

◇世界選手権 (9月26日~10月2日、ブダペスト・ハンガリー)

《男子フリースタイル》▼55kg 級 松永共広 (ALSOK 総合警備保障) = 5 位、▼60kg 級 湯元健一 (日体大) = 13 位、▼66kg 級 池松和彦 (K-POWERS) = 11 位、▼74kg 級 小幡邦彦 (ALSOK 総合警備保障) = 29 位、▼84kg 級 山本悟 (岡山・鳥城高教) = 25 位、▼96kg 級 小平清貴 (警視庁) = 25 位、▼120kg 級 田中章仁 (FEG) = 16 位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 豊田雅俊 (警視庁) = 13 位、▼60kg 級 笹本睦 (ALSOK 総合警備保障) = 10 位、▼66kg 級 飯室雅規 (自衛隊) = 16 位、▼74kg 級 岩崎裕樹 (銀水荘) = 17 位、▼84kg 級 松本慎吾 (一宮運輸) = 8 位、▼96kg 級 加藤賢三 (自衛隊) = 31 位、▼120kg 級 沢田直樹 (維新百年記念公園) = 25 位

《女子》▼48kg 級 坂本真喜子 (和光ク) = 3 位、▼51kg 級 坂本日登美 (自衛隊) = 優勝、▼55kg 級 吉田沙保里 (ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼59kg 級 正田絢子 (ジャパンビバレッジ) = 優勝、▼63kg 級 伊調馨 (中京女大) = 優勝、▼67kg 級 坂本襟 (ワークスジャパン) = 7 位、▼72kg 級 浜口京子 (ジャパンビバレッジ) = 2 位

◇サンキスト国際オープン (10月21~22日、米国・テンペ)

《男子フリースタイル》▼55kg 級 田岡秀規 (自衛隊) = 優勝、▼60kg 級 大館信也 (国土舘ク) = 3 位、▼66kg 級 黒田清志 (自衛隊) = 三失、▼84kg 級 小西誠 (自衛隊) = 四失

《男子グレコローマン》、▼55kg 級 禎卓也 (自衛隊) = 二失、▼60kg 級 森山振一郎 (自衛隊) = 3 位、▼66kg 級 保坂和哉 (自衛隊) = 5 位、▼74kg 級 川向敦支 (自衛隊) = 5 位

《女子》▼55kg 級 服部担子 (中京女大ク) = 6 位

国内

◇ジャパンビバレッジ杯ジャパングイーンズカップ（3月25日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼48kg級 坂本真喜子（中京女大）、▼51kg級 伊調千春（中京女大）、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）、▼59kg級 正田絢子（東洋大）、▼63kg級 伊調馨（中京女大）、▼67kg級 坂本襟（中京女大ク）、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）

◇全国高校選抜大会（3月27～29日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（3年連続15度目）、[2] 熊本・玉名工、[3] 岐阜・岐南工、鳥取・鳥取中央育英

《個人戦優勝者》▼50kg級 小俣将太（茨城・霞ヶ浦）、▼55kg級 小田裕之（青森・光星学院）、▼60kg級 竹本雄飛（京都・立命館宇治）、▼66kg級 森川一樹（茨城・霞ヶ浦）、▼74kg級 永田裕城（京都・網野）、▼84kg級 小室直人（茨城・霞ヶ浦）、▼96kg級 渡辺瑞基（宮城・宮城工）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・光星学院）

◇ユニバーシアード予選（3月31日、東京・国立スポーツ科学センター）

《男子フリースタイル》▼55kg級 清水聖志人（クリナップ）、▼60kg級 高塚紀行（日大）、▼66kg級 池松和彦（日体大助手）、▼74kg級 高橋龍太（自衛隊）、▼84kg級 磯川孝生（拓大）、▼96kg級 米山祥嗣（日体大）、▼120kg級 田中章仁（専大）

《男子グレコローマン》▼55kg級 和田宗法（日体大）、▼60kg級 福間道元（日体大）、▼66kg級 藤村義（自衛隊）、▼74kg級 鶴巻幸（国士大）、▼84kg級 斎川哲克（日体大）、▼96kg級 石沢幸佑（日体大）、▼120kg級 澤田直樹（徳山大ク）

◇明治乳業杯全日本選抜選手権予選会（4月10日、東京・国立スポーツ科学センター）

※出場資格のない選手の予選会で、各階級とも上位4選手が出場資格獲得（成績省略）

◇JOC杯ジュニアオリンピック（4月23～24日、神奈川・横浜文化体育館）

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 長江翔太（国士大）、▼55kg級 稲葉泰弘（専大）、▼60kg級 高塚紀行（日大）、▼66kg級 藤本浩平（拓大）、▼74kg級 秋本直樹（日大）、▼84kg級 門間順輝（日体大）、▼96kg級 下中隆広（国士大）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・光星学院高）

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 長塚和仁（東洋大）、▼55kg級 倉本一真（拓大）、▼60kg級 城戸義貴（徳山大）、▼66kg級 生松麗（日本文理大）、

▼74kg級 根津隆夫(早大)、▼84kg級 斎川哲克(日体大)、▼96kg級 山口竜志(拓大)、▼120kg級 中村淳志(拓大)

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 半田守(京都・網野町少年教室)、▼46kg級 丸山秀斗(山口・山口鴻城高)、▼50kg級 松本卓弥(京都・網野高)、▼54kg級 菊地賢人(秋田・秋田商高)、▼58kg級 山口代悟(兵庫・育英高)、▼63kg級 高谷惣亮(京都・網野高)、▼69kg級 松本篤史(群馬・館林高)、▼76kg級 永田裕城(京都・網野高)、▼85kg級 山名隆貴(奈良・添上高)、▼100kg級 馬場祐太郎(長崎・島原高)

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg級 雨宮和貴(山梨・北杜高)、▼46kg級 矢後匡平(千葉・柏二中)、▼50kg級 梶雅晴(兵庫・育英高)、▼54kg級 中井伸一(東京・京北高)、▼58kg級 竹下英嗣(山口・山口鴻城高)、▼63kg級 横山大士(滋賀・栗東高)、▼69kg級 中野裕仁(愛媛・今治工高)、▼76kg級 菊地心(北海道・根室高)、▼85kg級 鈴木啓仁(京都・南京都高)、▼100kg級 近田真基(兵庫・育英高)

《女子ジュニア優勝者》▼44kg級 進藤恵(堺女短大)、▼48kg級 片渕有紀(同大)、▼51kg級 鈴木七恵(早大)、▼55kg級 柴田瑞穂(中京女大)、▼59kg級 山名慧(中京女大)、▼63kg級 西牧未央(愛知・至学館高)、▼67kg級 新海真美(中京女大)、▼72kg級 田中希枝(中京女大)

《女子カデット優勝者》▼38kg級 阿部千波(茨城・水戸市少年団)、▼40kg級 坂本友里恵(岩手・宮古商高)、▼43kg級 堀内優(網野町少年教室)、▼46kg級 三村冬子(京都・網野高)、▼49kg級 鈴木幸子(栃木・壬生高)、▼52kg級 山内佳子(青森・青森商高)、▼56kg級 梶田瑞華(愛知・至学館高)、▼60kg級 井上佳子(愛知・至学館高)、▼65kg級 渡部沙織(福島・荒海中)、▼70kg級 榎本美希(三重・四日市四郷高)

◇東日本学生リーグ戦(5月12~13・19~20日、東京・駒沢体育館)

《順位》[1] 拓大(3年ぶり2度目)、[2] 早大、[3] 日体大、[4] 日大、[5] 山梨学院大、[6] 青山学院大、[7] 専大、[8] 中大、[9] 明大、[10] 東洋大、[11] 国士大、[12] 大東大、[13] 神奈川大、[14] 群馬大、[15] 東農大、[16] 法大

◇西日本学生春季リーグ戦(5月14~15日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場)

《順位》[1] 立命館大(8季連続10度目)、[2] 徳山大、[3] 日本文理大、[4] 中

京学院大、[5] 福岡大、[6] 同志社大、[7] 桃山学院大、[8] 南九州大

◇全国中学生選手権（6月11～12日、茨城・茨城スポーツセンター）

《男子優勝者》▼38kg級 森下史崇（茨城・野々井）、▼42kg級 半田守（京都・網野）、▼47kg級 谷田旭（静岡・裾野西）、▼53kg級 田中幸太郎（京都・男山三）、▼59kg級 赤沢岳（東京・京北）、▼66kg級 北村公平（京都・男山東）、▼73kg級 松本岬（長崎・有明）、▼85kg級 相原力也（秋田・勝平）、▼110kg級 山本竜司（静岡・大岡）

《女子優勝者》▼37kg級 阿部千波（茨城・水戸二）、▼41kg級 堀内優（京都・網野）、▼46kg級 明尾弥紀（京都・網野）、▼52kg級 伊藤友莉香（大阪・吹田山田）、▼58kg級 佐藤文香（茨城・水戸四）、▼64kg級 赤坂美里（青森・八戸二）、▼70kg級 山本ゆりか（静岡・大岡）

◇東日本学生春季新人選手権（6月16～18日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 富岡直希（日体大）、▼60kg級 富田和秀（大東大）、▼66kg級 宮原崇（明大）、▼74kg級 工藤豪己（日大）、▼84kg級 伊藤拓也（早大）、▼96kg級 安西信昌（明大）、▼120kg級 桜井紀宏（日体大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 倉本一真（拓大）、▼60kg級 杉村明啓（日体大）、▼66kg級 板倉史也（青山学院大）、▼74kg級 倉谷修平（日体大）、▼84kg級 矢野将章（専大）、▼96kg級 山本雄資（山梨学院大）、▼120kg級 重留慎悟（日大）

◇明治乳業杯全日本選抜選手権（6月22～23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 松永共広（ALSOK総合警備保障）、▼60kg級 湯元健一（日体大）、▼66kg級 池松和彦（K-POWERS）、▼74kg級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）、▼84kg級 山本悟（岡山県協会）、▼96kg級 小平清貴（警視庁）、▼120kg級 田中章仁（FEG）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 豊田雅俊（警視庁）、▼60kg級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）、▼74kg級 岩崎裕樹（銀水荘）、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）、▼120kg級 沢田直樹（徳山大ク）

◇女子世界選手権代表決定プレーオフ（6月23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《勝者》▼51kg 級 坂本日登美（自衛隊）、▼59kg 級 正田絢子（東洋大）、▼67kg 級 坂本襟（中京女大ク）

◇西日本学生選手権（6月24～26日、大阪・堺市立金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 向翔平（立命館大）、▼60kg 級 藤永大吾（立命館大）、▼66kg 級 増田和将（中京学院大）、▼74kg 級 谷田光（立命館大）、▼84kg 級 松井翔（立命館大）、▼96kg 級 坂本憲蔵（日本文理大）、▼120kg 級 谷絢人（立命館大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 上田吉輝（徳山大）、▼60kg 級 城戸義貴（徳山大）、▼66kg 級 生松麗（日本文理大）、▼74kg 級 伏見貴弘（日本文理大）、▼84 級 青木良三（近大）、▼96kg 級 坂本憲蔵（日本文理大）、▼120kg 級 小椋健太（桃山学院大）

◇全日本社会人選手権（7月9～10日、東京・青少年総合センター）

《団体戦優勝チーム》▼男子実業団 総合警備保障、▼男子クラブ 警視庁、▼女子 ジャパンビバレッジ

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 田岡秀規（自衛隊）、▼60kg 級 大館信也（国士舘クラブ）、▼66kg 級 太田亮介（警視庁）、▼74kg 級 工藤祐士（倉敷クラブ）、▼84kg 級 渡辺一貴（自衛隊）、▼96kg 級 横山武典（倉敷クラブ）、▼120kg 級 平沢光秀（新日本プロレス職）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 村上文清（自衛隊）、▼60kg 級 森山振一郎（自衛隊）、▼66kg 級 伊藤光（倉敷クラブ）、▼74kg 級 川向敦支（自衛隊）、▼84kg 級 太田充洋（大分県協会）、▼96kg 級 森保弘（日体大OB）、▼120kg 級 伏平学（倉敷クラブ）

《女子優勝者》▼48kg 級＝出場なし、▼51kg 級 山田広子（代々木クラブ）、▼55kg 級 服部担子（中京女大クラブ）、▼59kg 級 岩間怜那（ALSOK総合警備保障）、▼63kg 級 正田絢子（ジャパンビバレッジ）、▼67kg 級 坂本襟（中京女大クラブ）、▼72kg 級 斉藤紀江（ジャパンビバレッジ）

◇ドン・キホーテ杯全日本ビーチ選手権（7月31日、茨城・サンビーチ大洗）

《男子シニア優勝者》▼軽量級 長島和幸（クリナップ）、▼重量級 篠崎正二（だっぺクラブ）

《男子ジュニア優勝者》▼軽量級 萩原哲也（茨城県協会）、▼重量級 竹内勝信（茨城県協会）

《男子カデット優勝者》▼軽量級 菊井悠介（伊勢崎スパークラズ）、▼重量級 有馬剛（茨城・鹿島学園高）

《女子シニア優勝者》▼軽量級 斉藤貴子（拓大）、▼重量級 富岡多恵子（うるぐすチーム）

《女子ジュニア優勝者》▼軽量級 渡部小百合（自衛隊）、▼重量級 山崎真美（東京・安部学院高）

《女子カデット優勝者》▼軽量級 鈴木美織（千葉・松戸クラブ）、▼重量級 佐藤文香（茨城・水戸スポーツ少年団）

◇インターハイ（8月2～5日、千葉・佐倉市民体育館）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（4年連続18回目）、[2] 熊本・玉名工、[3] 岐阜・岐南工、千葉・関宿

《個人戦優勝者》▼50kg級 猪股大志（宮崎・宮崎工）、▼55kg級 小田裕之（青森・光星学院）、▼60kg級 矢野吉住（大分・日本文理大付）、▼66kg級 森川一樹（茨城・霞ヶ浦）、▼74kg級 永田裕城（京都・網野）、▼84kg級 小室直人（茨城・霞ヶ浦）、▼96kg級 藤本健治（岩手・盛岡工）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・光星学院）

◇全国女子高校選手権（8月17日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《優勝者》▼43kg級 坂本友里恵（宮古商）、▼46kg級 三村冬子（網野）、▼50kg級 鈴木幸子（壬生）、▼54kg級 国枝美香（堺女子）、▼58kg級 梶田瑞華（至学館）、▼63kg級 西牧未央（至学館）、▼68kg級 井上佳子（至学館）、▼72kg級 榎本美希（四日市四郷）

◇全国高校生グレコローマン選手権（8月17～19日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《優勝者》▼50kg級 内村勇太（佐賀・鹿島実）、▼55kg級 北岡利之（滋賀・日野）、▼60kg級 岡本佑士（静岡・飛竜）、▼66kg級 井上智裕（兵庫・育英）、▼74kg級 永田裕城（京都・網野）、▼84kg級 小室直人（茨城・霞ヶ浦）、▼96kg級 平田裕太郎（岡山・笠岡工）、▼120kg級 田中譲治（鹿児島・鹿屋中央）

◇全日本学生選手権（8月29～31日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 足立孝司（山梨学院大）、▼60kg級 高塚紀行（日大）、▼66kg級 佐藤吏（早大）、▼74kg級 マキシモ・ブランコ（日大）、▼84kg級 松本真也（日大）、▼96kg級 米山祥嗣（日体大）、▼120kg級 北村克哉（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（青山学院大）、▼60kg級 松本隆太郎（日体大）、▼66kg級 江藤紀友（拓大）、▼74kg級 岡本鉄平（拓大）、▼84kg級 鶴巻宰（国士舘大）、▼96kg級 山口竜志（拓大）、▼120kg級 社藤哲也（日体大）

《女子優勝者》▼48kg級 船津友里（東洋大）、▼51kg級 赤坂幸子（福岡大） 《優勝者》▼55kg級 松川知華子（日大）、▼59kg級 島田佳代子（日大）、▼63kg級 松川絵里香（日大）、▼67kg級 新海真美（中京女大）、▼72kg級 田中希枝（中京女大）

◇全日本学生王座決定戦（9月16日、東京・駒沢体育館）=決勝成績

日大○ [4-3] ●拓大

※日大は3年連続10度目の優勝

◇西日本学生新人選手権（9月24～25日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 永田豊治（天理大）、▼60kg級 吉岡郁弥（福岡大）、▼66kg級 松本大輝（徳山大）、▼74kg級 藤村勇喜（徳山大）、▼84kg級 古家圭（立命館大）、▼96kg級 東誠次（立命館大）、▼120kg級 高林努（日本文理大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 岩倉翼（徳山大）、▼60kg級 武田幸登（日本文理大）、▼66kg級 竹本幸城（立命館大）、▼74kg級 松本大輝（徳山大）、▼84kg級 谷田光（立命館大）、▼96kg級 茄子野陽介（桃山学院大）、▼120kg級 小椋健太（桃山学院大）

◇全日本大学グレコローマン選手権（10月6～7日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg級 倉本一真（拓大）、▼60kg級 松本隆太郎（日体大）、▼66kg級 江藤紀友（拓大）、▼74kg級 後藤秀樹（日体大）、▼84kg級 磯川孝生（拓大）、▼96kg級 山口竜志（拓大）、▼120kg級 社藤哲也（日体大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（2年ぶり5度目）、[2] 日体大、[3] 早大

◇国民体育大会（10月23～26日、岡山・倉敷市水島緑地福田公園体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼55kg級 齊藤将士（東京・東京都協会）、▼60kg級 大沢茂樹（山梨・山梨学院大）、▼66kg級 池松和彦（福岡・K—P O W E R S）、▼74kg級 工藤祐士（岡山・高松農高教）、▼84kg級 横山秀和（秋田・秋田商高教）、▼96kg級 小平清貴（東京・警視庁）、▼120kg級 田中章仁（福岡・F E G）

《成年グレコローマン優勝者》▼55kg級 村田知也（滋賀・日野高教）、▼60kg級 福岡道元（岡山・早島養護学校教）、▼66kg級 飯室雅規（滋賀・自衛隊）、▼74kg級 菅太一（東京・警視庁）、▼84kg級 松本慎吾（愛媛・一宮運輸）、▼96kg級 山口竜志（鳥取・拓大）、▼120kg級 加藤賢三（埼玉・自衛隊）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg級 守田泰弘（福岡・三井高）、▼55kg級 前田翔吾（愛知・星城高）、▼60kg級 紋谷哲平（茨城・霞ヶ浦高）、▼66kg級 森川一樹（茨城・霞ヶ浦高）、▼74kg級 永田裕城（京都・網野高）、▼84kg級 小室直人（茨城・霞ヶ浦高）、▼96kg級 鈴木啓仁（京都・南京都高）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・光星学院高）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg級 富岡達也（長野・上田西高）、▼55kg級 重松賢（長野・上田西高）、▼60kg級 岡本佑士（静岡・飛竜高）、▼66kg級 井上智裕（兵庫・育英高）、▼74kg級 矢口護（長野・上田西高）、▼84kg級 黒川渉（滋賀・栗東高）、▼96kg級 湯田拓巳（福島・田島高）、▼120kg級 平川真也（熊本・玉名工高）

◇全日本大学選手権（11月12～13日、兵庫・猪名川町文化体育館）

《優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（青山学院大）、▼60kg級 大沢茂樹（山梨学院大）、▼66kg級 佐藤吏（早大）、▼74kg級 マキシモ・ブランコ（日大）、▼84kg級 磯川孝生（拓大）、▼96kg級 米山祥嗣（日体大）、▼120kg級 中村淳志（拓大）

《大学対抗得点》[1] 日大（2年連続6度目）、[2] 日体大、[3] 拓大

◇全国社会人オープン選手権（7月19～20日、東京・スポーツ会館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 足立竜一（自衛隊）、▼60kg級 田岡秀規（自衛隊）、▼66kg級 古里光司（神奈川・日大藤沢高教）、▼74kg級 萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）、▼84kg級 高橋龍太（自衛隊）、▼96kg級 相沢純（中大クB）、▼120kg級 金親幸嗣（中大クB）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 大津卓睦（スターツ）、▼60kg級 下村博（自衛隊）、▼66kg級 西田哲人（自衛隊）、▼74kg級 小川明彦（自衛隊）、▼84kg級 川向敦支（自衛隊）、▼96kg級 森保弘（日体大OB）、▼120kg級 金親幸嗣（中大クB）

◇東日本学生秋季新人選手権（11月24～25日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 嶋村英宣（東洋大）、▼60kg級 大塚隆史（日体大）、▼66kg級 米満達弘（拓大）、▼74kg級 大月葵斐（早大）、▼84kg級 門間順輝（日体大）、▼96kg級 下中隆広（国士大）、▼120kg級 北村克哉（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 樺山泰幸（中大）、▼60kg級 及川賢太（国士大）、▼66kg級 米満達弘（拓大）、▼74kg級 田中悠一（日体大）、▼84kg級 浅見哲郎（早大）、▼96kg級 野口智行（専大）、▼120kg級 北村克哉（専大）

◇西日本学生秋季リーグ戦（11月27～28日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）

《順位》[1] 立命館大（9季連続11度目）、[2] 徳山大、[3] 福岡大、[4] 同志社大、[5] 日本文理大、[6] 中京学院大、[7] 桃山学院大、[8] 近大

◇全日本選手権（12月21～23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 松永共広（ALSOK総合警備保障）、▼60kg級 湯元健一（日体大）、▼66kg級 佐藤吏（早大）、▼74kg級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）、▼84kg級 松本真也（日大）、▼96kg級 小平清貴（警視庁）、▼120kg級 田中章仁（FEG）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 豊田雅俊（警視庁）、▼60kg級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）、▼74kg級 岩崎裕樹（銀水荘）、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）、▼120kg級 鈴木克彰（警視庁）

《女子優勝者》▼48kg級 伊調千春（中京女大）、▼51kg級 坂本日登美（自衛隊）、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）、▼59kg級 山本聖子（ジャパンビバレッジ）、▼63kg級 伊調馨（中京女大）、▼67kg級 坂本襟（ファークスジャパン）、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）